

I 各市提出議題

○ 総務文教分野

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案 (. . . 第 回総会 ; 市)		
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> その他 (県の主体的な取組を求めるもの)		分野 <input checked="" type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	企画振興部
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	1 信州まつもと空港の利用促進について		
提案市	松本市、大町市、塩尻市、安曇野市		
提案要旨	<p>信州まつもと空港は、3定期運航路線（福岡・札幌・神戸）及び期間限定の大阪・札幌丘珠線と合わせて12便（定期便通常時8便）が運航している。神戸線や札幌丘珠線の期間延長等路線も拡大してきた中、県及び空港周辺自治体が連携しながら利用促進を図り、利用率も順調に伸ばしてきた。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用率は急激に減少し、コロナ禍における路線の安定的な運航及び路線維持が心配されるところである。</p> <p>地元市としても、旅行需要が回復した段階で、積極的に利用促進に取り組んでいくため、引き続き県の主導的な取組を要望する。</p>		
提案理由	<p>長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大きく落ち込んだ利用率の回復は、運航会社単体での取組だけでは難しく、県及び地元市がより一層連携して支援していく必要があるため。</p>		
現況及び課題等	<p>1 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、運航会社は、運休や減便を実施し、コスト削減に努めている。</p> <p>2 「Go Toトラベル事業」の開始で利用率は一時的に回復したものの、感染症再拡大に伴う「Go Toトラベル事業」の全国的な一時停止、外出自粛により、運休・減便を余儀なくされ、12月末時点の利用率は、40.3%であり、対前年比△31.9ポイントと大幅に減少している。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大きく落ち込んだ利用率の回復には、「Go Toトラベル事業」の再開に合わせ、積極的な利用促進策が必要である。</p> <p>4 特に、就航間もない神戸線については、ビジネス利用が定着していない現状もあり、関西圏における、より一層の認知度向上及び利用促進策が必要である。</p>		
法令関係			